

バージョン 10 リリース 1  
2017 年 11 月 17 日

## **IBM Interact** リリース・ノート

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. Each letter is composed of horizontal stripes, with the "I" having 7 stripes, the "B" having 8 stripes, and the "M" having 6 stripes.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Interact バージョン 10、リリース 1、モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 1  
17 November 2017  
IBM Interact Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2004, 2017.

---

## 目次

第 1 章 システム要件と互換性 . . . . .	1	プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項 . . . . .	15
第 2 章 バージョン 10.1 の新機能と変更 点 . . . . .	3		
第 3 章 修正された問題 . . . . .	5		
第 4 章 既知の問題 . . . . .	7		
第 5 章 既知の制約 . . . . .	9		
<b>IBM</b> 技術サポートへのお問い合わせの前 に . . . . .	11		
特記事項 . . . . .	13		
商標 . . . . .	15		



---

## 第 1 章 システム要件と互換性

IBM® Interact は、IBM Marketing Software の製品スイートの一部として動作します。

Interact 10.1 へのアップグレードは、Interact バージョン 10.0 から行えます。

現在バージョン 9.1.1 または 9.1.2 を使用している場合は、まずバージョン 10.0 にアップグレードしてからバージョン 10.1 にアップグレードする必要があります。

手順については、「*IBM Interact 10.1 アップグレード・ガイド*」を参照してください。

### システム要件と互換性に関する完全な情報の参照先

この製品と互換性がある IBM 製品のバージョンのリストについては、「*IBM 10.1 Product Compatibility Matrix*」、および IBM サポート・ポータル Web サイト (<https://www.ibm.com/support/entry/portal/documentation>) の「資料」の下に掲載されている、その他の製品互換性に関する資料を参照してください。

この製品のサード・パーティー要件のリストについては、「*IBM Marketing Software* の推奨されるソフトウェア環境および最小システム要件」(Interact にログインして「ヘルプ」>「製品資料」から入手可能。IBM サポート・ポータル Web サイト (<https://www.ibm.com/support/entry/portal/documentation>) から入手可能) を参照してください。



---

## 第 2 章 バージョン 10.1 の新機能と変更点

IBM Interact 10.1 には、以下の新機能が含まれています。

### イベント・パターンのリセット条件

訪問者がセッションを開始した後にパターンをリセットするために使用する、イベント・パターンのリセット条件を指定できるようになりました。

イベント・パターンがリセットされると、ステータスは `False` に設定され、すべてのカウンターはゼロに設定されます。リセット条件を適用できるのは、イベント・パターンがアクティブで、イベント・パターンのステータスが `True` に設定されていない場合のみです。

リセット条件を指定するには、「イベント・パターンの追加」ウィンドウの「リセット条件 (Reset criteria)」タブを使用します。一度に 1 つの条件のみ設定できます。

リセット条件の設定はオプションです。デフォルトでは、リセット条件は「なし」に設定されています。

アップグレード: v10.1 より前のバージョンからアップグレードする場合は、すべてのイベント・パターンのリセット条件は、デフォルトで「なし」に設定されます。

注: イベント・パターンのリセット条件は、詳細なイベント・パターンでは機能しません。





## 第 3 章 修正された問題

Interact 10.1 で修正された問題を以下の表にリストします。

問題 ID	説明
DEF 226037	オファー非表示は、セッション間では機能しない。1つのセッションで <code>startSession</code> 呼び出しと <code>getOffers</code> 呼び出しを実行した後、新しいセッションで <code>postEvent</code> 呼び出しを実行した場合、オファーは抑止された状態で表示されません。
DEF 244766	ActivityOrchestrator ゲートウェイ構成パスおよびタイムアウト・パラメーターの詳細が誤って記述され、十分なロギングが行われない。
DEF 266175	「イベント・パターンの状態」のマージ中に、編集済みのパターン定義が原因で <code>ArrayIndexOutOfBoundsException</code> 例外が発生する。
DEF 196315	アプリケーションへのクロスサイト・リクエスト・フォージェリー [CSRF] 攻撃。CSRF はソーシャル・エンジニアリング攻撃で、攻撃の対象者は気付かぬうちにアプリケーションにログインしていて、サーバーに要求を送信させられています。
DEF 206128	セル・レポートへのアクセスが拒否されている場合に、ユーザーは対話式フローチャートで右クリックを使用してメニューを開くことができない。
DEF 212780	古いバージョンの Campaign/Interact では、UA_Calendar テーブルが 2015 年 12 月 31 日までの日付をサポートしている。
DEF 218190	対話式チャンネルを実装すると、オファーの制約が機能しない。
DEF 218940	決定プロセス・ボックスで異なる複数のセグメントが複数の「すべてのレコード」ブランチに割り当てられている場合に、すべてのレコードが取り込まれるのは1つのセグメントのみになる。
DEF 220032	<code>getOffers</code> 呼び出し中に対話式フローチャートが完了するのを待機する際に、実際にはフローチャートの実行が完了しているのにも関わらず、トランザクション <code>com.unicacorp.interact.session.SegmentationResultUtil</code> のごく一部がタイムアウトになるために、競合状態が発生する。これにより、オファーが表示されなくなります。
DEF 223216	特定のシナリオでは、オファー非表示のルールが「対話の管理 (Interact Administration)」ページの「配置 (Deployment)」セクション内で重複する場合がある。
DEF 224517	一方の詳細ルールが満たされていて他方の詳細ルールが満たされていないルールに1つのオファーが結合されている場合、オファーが非表示になる。
DEF 226311	キャッシュが消去されると、属性に基づいたオファー非表示が機能しない。
DEF 228593	トリガー・メッセージ機能が構成されている場合、Interact ランタイムがクライアントから要求を受け取っていないにも関わらず、Interact ランタイムの <code>DispatchingCleaner</code> スレッドによる CPU 使用率が 30% 以上になる。
DEF 228759	プロファイル・テーブル検証でトレース・ロギングを使用できない。
DEF 230078	イベント・パターンに対する高性能な Interact のスレッド・モニタリング計測機能の使用時に、パフォーマンス上の問題が発生する。
DEF 230187	REST API 応答に、UTF-8 文字ではなく、破損した HTML エスケープ処理済みの国際文字が含まれる。
DEF 231286	終了セッションのない長時間に渡る Interact の実行時に <code>java.lang.IllegalStateException</code> エラーが発生する。

問題 ID	説明
DEF 231557	REST API startSession は relyOnExistingSession=true で新しいセッションを作成するが、そのセッションにプロフィール・データ、セグメンテーション、オファーのいずれもない。
DEF 231936	Interact の配置に関する問題について、追加のロギングおよび認証のオーバーライド JVM パラメーターが追加された。
DEF 235123	getlearningscore が学習スコアを返さない。
DEF 237204	式に AND、OR、または IN が欠落している場合に、構文チェックで「有効な構文」が戻る。
DEF 238147	10.0.0.1 に対話式チャンネルを配置しようとする、LDAP 認証が失敗する
DEF 240123	配列の境界チェックが正しくないため、イベント・パターンの状態 ETL ジョブが ArrayIndexOutOfBoundsException で失敗する
DEF 240586	相互排他的ではないブランチのうちの 1 つのブランチの式を評価しているときに、決定プロセス・ボックスに関するエラーが発生すると、すべてのブランチの式が評価されない。
DEF 241256	HTMI - ThreadDumpCountdown サポート
DEF 241792	資格情報が有効であるにもかかわらず、Interact の配置認証が失敗する。
DEF 244002	500 文字以上の「ルール・オファー属性オーバーライド・ストリング」が使用されている場合に、GetOffers メソッドが値を切り捨てるか、予期しない結果を返すことがある。
DEF 244176	Interact 診断サプレットに関する各種問題。
DEF 245000	DefaultOffersManager の NullPointerException。UACI_DefaultOffers のオファーの audiencelevel 列が NULL の場合にエラーが発生する。修正の後にさらにロギングが追加されます。
DEF 245095	オファー非表示 - イベント・カウンターのデータ・タイプ変換が正しくない。
DEF 247312	ユーザーがフィルターを適用し、方法を保存するとエラーが発生する。
DEF238296	クロスセッション・レスポンスのセッション中に学習トランザクション・レコードが生成されない
	学習の最終スコアが超過しました - 1.7976931348623157E308 をバインドしようとしてオーバーフロー例外が発生します (Learning Final Score Exceeded - Overflow Exception trying to bind 1.7976931348623157E308)

## 第 4 章 既知の問題

Interact 10.1 の問題点を以下の表にリストします。

問題点	問題 ID	説明
EAR デプロイメントで致命的エラーが発生する	問題 276955	<p>デプロイメント用 EAR ファイルの作成時に致命的エラーが発生し、共通インストーラー・ログにメッセージが追加されます。このメッセージは無視できます。このエラーが発生しても、EAR ファイルは正常にデプロイされます。</p> <p>共通のインストーラーのログ内に次のエントリーが出力される可能性があります。</p> <p>カスタム・アクション： com.unica.install.ia.custom.StrIndexAndPieces</p> <p>ステータス：エラー</p> <p>追加の説明：エラー - 次のクラスで予期しない致命的エラーが発生しました (Unexpected Fatal Error in Class): com.unica.install.ia.custom.StrIndexAndPieces.install()</p>
バージョン 10.0 からのアップグレード時の、コンソール・モードのインストールでメッセージが複数回表示される。	271642	バージョン 10.0 からのアップグレード時の、コンソール・モードのインストールで、「しばらくお待ちください.....」というメッセージが複数回表示される。
英語以外のロケールで、スナップショット・プロセス・ボックス内の新しいマップ済みテーブルと共に永続的なユーザー定義フィールド (PDF) をエクスポートできない。	11682	「スナップショット」タブの「スナップショット・フィールド」リストにある PDF は、新しいマップ済みテーブルと共にエクスポートできるはずですが、英語以外のロケールでは、PDF を表示することもエクスポートすることもできません。
ユーザーが大規模な式を Interact 戦略オファー属性で追加しようとした場合、また、Interact に配置しようとした場合、ログにエラー「ORA-12899: 列 "CAMP911"."UACI_RULEOFFERATTR_OVERRIDE". "EXPRESSION" の値が大きすぎます」がスローされます。	RTC 204413	このエラーを修正するには、システム管理者が手動で UACI_RULEOFFERATTR_OVERRIDE の EXPRESSION フィールドのサイズを増やしてから、サーバーを再始動する必要があります。
バージョン 9.1 以前からアップグレードする場合は、セッション timeoutinsec を再構成する必要があります。	RTC 207011	バージョン 9.1 以前からアップグレードする場合、セッションの timeoutinsec プロパティを構成する必要があります。この構成プロパティは、以前は <b>Interact   sessionManagement</b> の下にありました。現在は、 <b>Interact   cacheManagement   caches   InteractCache</b> の下にあります。

問題点	問題 ID	説明
ディメンション・テーブルを再マップすると、テーブル名がデフォルトのテーブル名に戻る	PMR 230768、DEF 232128	ディメンション・テーブルを再マップすると、テーブル名はデフォルトのテーブル名に戻り、キーのチェック・マークが削除される。
関連オファーの抑止ルール attribute value = [auto] が、セッション間レスポンス・トラッキングで予期したように動作しない。	RTC91765	動的属性値 (attribute value = [auto]) を使ってオファーが抑止され、セッション間レスポンス・トラッキングが使用される場合、予期したようにオファーが抑止されないことがあります。  この問題を回避するには、[auto] 以外の属性値を使用してください。この問題は、今後のリリースで解決される可能性があります。

## 第 5 章 既知の制約

Interact 10.1 の既知の制約を以下の表にリストします。

問題点	番号	説明
ルール・ウィザードによって作成された多数の処理ルールを含む方法を保存する際に、NULL ポインター例外が生じる	RTC172332	ルール・ウィザードによって 1 つのオファーと 900 のセグメントを追加することにより約 900 のルールを作成し、その方法を保存しようとする場合、以下のエラーが表示されます。 <code>java.lang.NullPointerException</code>
Interact 配置のロールバックが拡張パターンでサポートされていない (期間指定と周期期間)	RTC73521	以下のワークフローを実行する場合、V1 は拡張パターン・ランタイムで同期されません。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 簡単なパターンだけを含む対話式チャネルを作成して、このバージョン V1 を Interact ランタイムに配置する。</li> <li>2. 拡張パターン・カウンター (期間指定) タイプのパターンを対話式チャネルに追加して、同じものを対話式フローチャートで使用し、パターン状態に基づくセグメントに内容を入れる。</li> <li>3. この対話式チャネルをランタイムに配置して、バージョン V2 が作成される。同じことが Detect ワークスペースに反映される。</li> <li>4. バージョン V1 にロールバックまたは再配置する。再配置が正常に完了した後、Opportunity Detect ワークスペースにバージョン V2 が示される。</li> </ol>
Interact の対話式フローチャートが Campaign のマクロのサブセットをサポートする	DEF057366、 ENH11494	設計では、対話式フローチャートは、バッチ・フローチャートで利用できるマクロのサブセットのみをサポートします (これらのみが選択可能になります)。対話式フローチャートの「選択」または「決定」プロセス・ボックスで、サポートされていないマクロ (「AGE between 1 and 18」の between 演算子など) を使用する場合に、構文を確認すると「関数または操作がサポートされていません。」というエラー・メッセージが表示されます。これは予期された動作です。
未加工 SQL のオプションが Interact のフローチャートでサポートされない	DEF049991	対話式フローチャートのプロセスで、式のタイプが「SQL(ID)」または「SQL(ID+ データ)」であるカスタム・マクロを使用すると、エラー 11324 になります。
永続的なユーザー定義フィールドが対話式フローチャートの下流の決定プロセスでプロファイルされない	RTC8870	フローチャート・プロセスで永続的なユーザー定義フィールドを作成し、そのプロセスの出力を決定プロセスに接続して永続的なユーザー定義フィールドをプロファイルしようとしても、そのフィールドはプロファイルされません。  この問題を回避するには、元のユーザー定義フィールドをプロファイルしてください。
GUI から保存しようとしたときに WebConnector がデフォルトの構成を行わない	DEF052958	WebConnector は、GUI から保存しようとしたときに、フィールドにデフォルト値を設定しません。

問題点	番号	説明
Interact では、オーディエンス ID の Campaign フィールド名を、ソース・フィールド名でない値に変更できない。	RTC219848	<p>バッチ・フローチャートで、ホワイト・リスト (スコア・オーバーライド) を使用してオファー・リストをエクスポートするための新しいテーブルを作成する Interact リスト・プロセス・ボックスと選択プロセス・ボックスを一緒に使用する場合は、オーディエンス ID の Campaign フィールド名をソース・フィールド名でない値に変更することができません。</p> <p>Interact は、オファー・リストが生成されるエクスポート・テーブルを照会するためにソース・フィールド名を使用します。また、Campaign フィールド名のオーディエンス ID に別名を使用すると、Interact はオファー・リストに存在しない照会パラメーターを使用します。これに従っていない場合は、getOffers 中に SQL エラーが発生し、ソース・フィールド名が無効な ID であることが示されます。</p>

---

## IBM 技術サポートへのお問い合わせの前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートにお問い合わせすることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するために、以下のガイドラインを使用してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの記述も作成も行いません。API オファリングの実装で支援が必要な場合は、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

### 収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 製品およびシステム環境に関する情報 (この情報は「システム情報」の説明に従って取得できます)。

### システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題がログインの妨げになっていない場合、この情報の多くは「バージョン情報」ページから得られます。このページでは、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が提供されています。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択します。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを確認してください。

### IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト ([http://www.ibm.com/support/entry/portal/open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request)) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは IBM カスタマー番号とリンクしていなければなりません。

せん。アカウントを IBM カスタマー番号に関連付ける方法については、サポート・ポータル[の「サポート・リソース」](#) > [「ライセンス付きソフトウェア・サポート」](#)を参照してください。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
B1WA LKG1  
550 King Street  
Littleton, MA 01460-1250  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

---

## プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置す

ることを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』  
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。





Printed in Japan